第 13 章

NWEC図書パッケージ貸出サービス１年半

男女共同参画の情報と知識を若い世代に

市村　櫻子

本稿は、国立女性教育会館女性教育情報センター（以下、「NWEC情報センター」）が平成22年度から試行的に開始し、平成23年度より本稼働したNWEC図書パッケージ貸出サービスについて、その開始から展開の経過について１年半の実践を報告するものである。

1　NWEC図書パッケージ貸出サービスとは

NWEC図書パッケージ貸出サービスとは、大学、女性関連施設、公共図書館等の機関を対象に、NWEC情報センターの蔵書から「男女共同参画」や「女性のライフプラン」「家族問題」など、男女共同参画社会の形成を目指した女性・家庭・家族に関する様々なテーマに合致する図書を、30冊から200冊程度のパッケージにまとめ、１ヵ月から６ヵ月程度、申込機関に貸し出すサービスである。

このサービスで申込機関が負担する料金は、資料の送料のみである。申込機関への資料の送付は、宅配便、ゆうパックを使い、図書の貸出・返却時の送料は申込機関の負担となる。また、利用者による図書の損傷または紛失の場合は、現物を購入して代納または相当の代価で弁償することを双方で了解している。

NWEC図書パッケージ貸出サービスの利用者のターゲットは、現在のと

ころ次のように提案し、対象を明確にすることを心がけている。①大学生向け、②大学の女性研究者向け、③女性関連施設向け。①の中では、さらにA．初年次の学生生活向け、B．教員になる学生向けの他、C．男女共同参画やジェンダー学関係の授業支援・論文作成支援向け、としている。

申込機関の利用者のターゲットに合わせ、担当者と打ち合わせをすすめ、これまでに用意したテーマは、「異性関係」「コミュニケーション」「食」「男女共同参画」の他約50種類である。これらを組み合わせ、図書のパッケージを作成し、提供している。

なお、上記C．授業支援・論文作成支援向け図書パッケージ以外は、出版年が2005年以降の現代の事情、ニーズにあった比較的新しい図書を特に選んで構成している。

また、平成23年３月11日の東日本大震災後には、大学からの希望により「災害と女性」「ボランティア」をテーマとした図書を含んだパッケージを作り、これまでに岩手大学附属図書館、東京大学駒場図書館へ提供した。

第１表　NWEC図書パッケージ例

①　A．大学１、２年生の最初の学生生活をサポートするためのパッケージ		
a	「異性関係」「コミュニケーション」「食」「男女共同参画」	200冊
b	「生き方」「しごと」「セクシュアリティ」「男性学」「人間関係」	200冊
c	「格差」「家族関係」「からだ」「国際協力」「スポーツ」	200冊
d	「メディア」「異性関係」「自己実現」「ライフスタイル」「男女共同参画」	200冊
e	「アイデンティティ」「キャリア」「政治」「文学」「メディア」	200冊
f	「生き方」「コミュニケーション」「セクシュアリティ」「大学」「男女共同参画」	200冊
g	「アート」「こころ」「国際比較」「持続可能な社会」「人権」	200冊
h	「家族」「キャリア」「恋愛」	100冊
i	「海外生活」「世代論」「ファッション」	100冊
j	「災害」「ボランティア」「メンタル・ヘルス」	100冊
①　B．教員を目指す学生のためのパッケージ		
k	「家庭と学校」「児童福祉」「人権教育」「多文化」「男女共同参画」	200冊
l	「児童福祉」「児童虐待」「セクシュアリティ」「セクハラ」「男女共同参画」	200冊
①　C．論文作成をサポートするためのパッケージ		
m	「子育て支援」「夫婦別姓」「スポーツと女性」「女性のキャリア形成」	200冊
②　大学の女性研究者向け		
n	「生き方」「科学と社会」「キャリア」「セクシュアリティ」「大学」	200冊
③　女性関連施設の事業と連携したパッケージ		
o	「女性のための再就労支援講座」との連携	50冊

2　NWEC図書パッケージ貸出サービスの始まり

国立大学図書館を中心として、立ち上げからの早い時期にNWEC図書パッケージ貸出サービスの実施と広報が展開できた要因の１つは、筆者が平成22年３月まで東京大学駒場図書館に図書課長として勤務していたことによるところが大きい。東京大学駒場図書館勤務３年目が終わりかけた頃、山本泰東京大学総合文化研究科教授から、東京大学駒場図書館内に男女共同参画に関する図書コーナーの設置を相談された。

利用者の一番大きなターゲットは、東京大学教養学部初年次の学生ではあるものの、そのコーナーに置くべき図書の選定方法、図書の構成について、その方針を模索していた。

平成22年４月に、国立女性教育会館に情報課長として異動した好機を得て、東京大学駒場図書館内に設置される男女共同参画に関する図書コーナーに、まずNWEC情報センターの蔵書を置いて利用する「NWEC図書パッケージ貸出サービス」を提案し、これが実現した。ここからNWEC図書パッケージ貸出サービスが始まる。

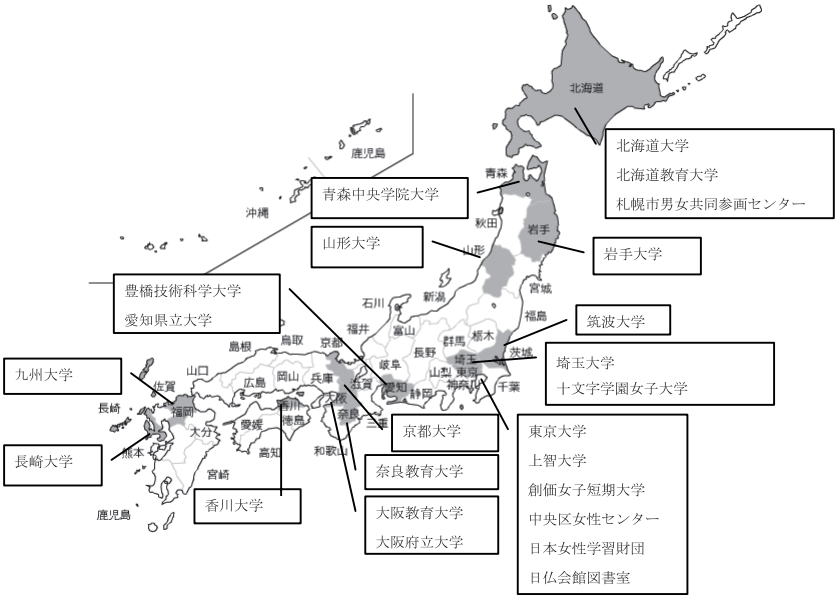
NWEC図書パッケージ貸出サービスは、平成22年６月の東京大学駒場図書館へのサービス提供を皮切りに、平成22年度は全国の11機関へ20回、3,850冊の図書を貸し出す実績を作った。平成23年10月現在では、前年度からの継続９機関、新規参加11機関となり、北は北海道大学、南は九州大学まで計20機関へ34回、5,467冊の図書を貸し出している。11月以降の利用予定機関もあわせると、現在把握できる利用機関は22を数える。平成22年度からの延べ利用機関数は、利用開始予定を含め24機関、その内訳は国立大学14機関、私立大学・私立短期大学４機関、公立大学２機関、女性関連施設３機関、その他１機関となる。

サービス提供開始から１年半で、NWEC情報センターのサービス拠点、男女共同参画の情報と知識の拠点は全国に広がりつつある。

しかし一方、このサービスの展開により、NWEC情報センターの図書が4,000冊以上貸し出されている現状を知らず、これまでどおりNWEC情報センターに来れば、いつでもゼミや授業に使える図書が揃っていると思われていた利用者の方々の期待に添えなかった事態が発生している。

広報の大切さとともに、NWEC図書パッケージ貸出サービスの利用と、NWEC情報センター来館利用の双方に応えられるよう、資料収集方針の重点化が目下の課題である。

第１図　NWEC図書パッケージ貸出サービス利用機関（地域別）



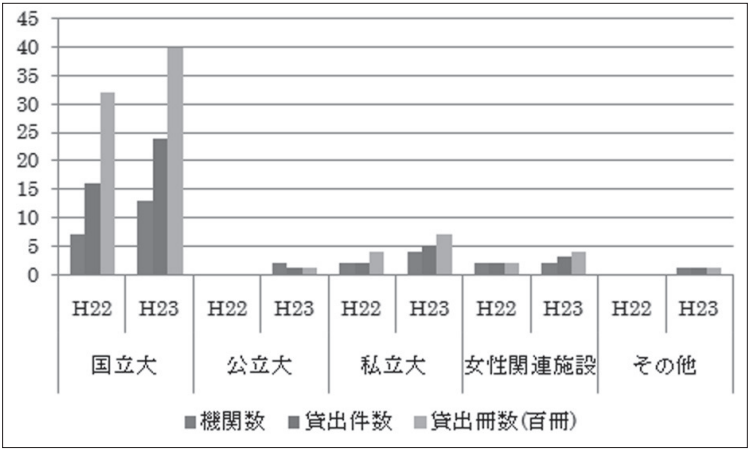
第２表　図書パッケージ貸出の実績一覧　H23.10.1現在

国立大学○　公立大学◎　私立大学●　女性関連施設□　その他機関■

	年度	利用開始時期～ 貸出先（図書の設置場所）		貸出		延べ貸出	
				件数	冊数	件数	冊数
1	H22	H22. 6～	○	5	1,000	9	1,400
	H23	東京大学駒場図書館		4	400		
2	H22	H22. 8～	○	3	600	6	998
	H23	大阪教育大学附属図書館		3	398		
3	H22	H22. 8～	●	1	200	3	500
	H23	上智大学女性研究者支援事務局		2	300		
4	H22	H22. 10～H23. 3 長崎大学　附属図書館	○	1	200	1	200
5	H22	H22. 10 中央区立女性センター	□	1	50	1	50
6	H22	H22. 10～	●	1	200	2	351
	H23	十文字学園女子大学		1	151		
7	H22	H22. 10～	○	3	600	6	1,199
	H23	京都大学　附属図書館		3	599		
8	H22	H22. 11～	○	2	400	4	800
	H23	奈良教育大学学術情報研究センター図書館		2	400		
9	H22	H23. 1～	○	1	200	4	800
	H23	九州大学附属図書館		3	600		
10	H22	H23. 1～	○	1	200	3	600
	H23	北海道大学北図書館		2	400		
11	H22	H23. 1～	□	1	200	3	599
	H23	札幌市男女共同参画センター		2	399		
12	H23	H23. 4～ 埼玉大学教養学部資料センター	○	2	440	2	440
13	H23	H23. 6～9 青森中央学院大学図書館情報センター	●	1	200	1	200
14	H23	H23. 6～9 岩手大学情報メディアセンター図書館	○	1	110	1	110
15	H23	H23. 6～9 山形大学小白川図書館	○	1	200	1	200
16	H23	H23. 6～ 創価女子短期大学　小林研究室	●	1	74	1	74
17	H23	H23. 6～ 香川大学図書館	○	1	200	1	200
18	H23	H23. 8～9 豊橋技術科学大学附属図書館	○	1	100	1	100
19	H23	H23. 9～ 日本女性学習財団	□	1	50	1	50
20	H23	H23. 10～ 愛知県立大学学術情報センター　長久手キャンパス図書館	◎	1	100	1	100
21	H23	H23. 10～ 日仏会館図書室	■	1	146	1	146

22	H23	H23. 10～ 北海道教育大学附属図書館 ○	1	200	1	200
23	H23	H23. 12～（予定） 大阪府立大学学術情報センター ◎	(1)	(100)	(1)	(100)
24	H23	H23. 12～（予定） 筑波大学附属図書館 ○	(1)	(100)	(1)	(100)

第２図　NWEC図書パッケージ貸出サービス利用数（機関別）



第３表　NWEC図書パッケージ貸出サービス利用数（機関別）

機関別　計			機関数		貸出		延べ貸出	
					件数	冊数	件数	冊数
H22	国立大学	(○)	7	11	16	3,200	20	3,850
	公立大学	(◎)	0		0	0		
	私立大学	(●)	2		2	400		
	女性関連施設	(□)	2		2	250		
	その他機関	(■)	0		1	0		
H23	国立大学	(○)	12	20	24	4,047	34	5,467
	公立大学	(◎)	1		1	100		
	私立大学	(●)	4		5	725		
	女性関連施設	(□)	2		3	449		
	その他機関	(■)	1		1	146		
（平成23年度の合計数に、第２表のNo.23 大阪府立大学、No.24 筑波大学は含まない）								

3　NWEC図書パッケージ貸出サービスを支える基盤

このサービスを支えるNWEC情報センターは、昭和54年「情報図書室」としての開室以来（昭和62年11月「婦人教育情報センター」、さらに平成13年からは「女性教育情報センター」）、男女共同参画及び女性・家庭・家族に関する専門図書館として、図書、雑誌、地方行政資料など約12万冊の専門的な蔵書を有している。

蔵書の中で、特に特徴的なことは、専門のテーマに関する図書、雑誌、行政資料等の情報を、市販ルート以外にも細かく情報収集して、寄贈等で入手し、蔵書として備え付けていることである。

第４表　NWEC情報センター所蔵資料数（平成23年３月末現在）

項目			和	洋	計
図書資料	図書	（冊）	71,444	21,820	93,264
	地方行政資料	（冊）	25,069	8	25,077
	計	（冊）	96,513	21,828	118,341
逐次刊行物	雑誌	（誌）	3,138	719（60ヵ国）	3,857
	新聞	（紙）	74	1	75
その他	新聞切り抜き	（件）	303,610	―	303,610
	ＡＶ資料	（種）	145	4	149
	研修貸出用資料	（種）	15	0	15

NWEC情報センターは、利用者への来館型サービスとして、図書、雑誌、新聞、ミニコミ誌、新聞クリッピングなどの閲覧、図書の貸出のほか、来館や電話、FAX、eメールでのレファレンス（参考調査）への回答、文献のコピーサービスなどを提供している。さらに遠隔地の利用者にも、インターネット経由で世界中どこからでも使える女性情報ポータルWinetによる専門情報の提供、ILL（Inter Library Loan図書館間相互貸出、郵送による文献のコピーサービス）を通じて、非来館型サービスを展開させている。加えて今回、

このNWEC図書パッケージ貸出サービスの開始により、さらに潜在的な利用者へのニーズに応えるサービス拡大を試みた。

情報課の事業全体からみてNWEC図書パッケージ貸出サービスは、若干の作業量が発生するものの、この事業の実現はNWEC情報センターの蔵書構成（テーマの専門性、特徴）を活かし、そのサービスを全国のNWECを知らない利用者に拡大できたこととして、画期的な事業のひとつと考えられる。

第３図　女性情報ポータル　ウィネット　Winet　http://winet.nwec.jp/
平成23年４月「情報の見える化」をめざし、ホームページデザインを一新した。

4　NWEC図書パッケージ貸出サービスの使われ方の傾向

NWEC図書パッケージ貸出サービスを利用開始時に、各機関は申請書を事前に提出する。この申請書の利用目的には、あらかじめ次の項目を用意している。

大学向けには、①学生への男女共同参画に関する学習支援、②女性研究者への情報提供、③教職員への男女共同参画に関する情報提供、④その他（具体的に）。

女性関連施設向けには、①講座等事業関連資料の提供、②利用者への男女共同参画に関する学習支援、③その他（具体的に）。

NWEC図書パッケージ貸出サービスを通年で利用する機関の利用目的のほとんどは「男女共同参画に関する学習支援」である。そして、NWEC図書パッケージ貸出サービスを利用する機関に国立大学が多いのは、大学図書館とその蔵書構成が異なるところにあると考えられる。

大学図書館の蔵書を構成する図書は、高等教育機関としての大学の運営方針に沿い、学部・学科の構成、カリキュラムの内容にあわせ、大学構成員（教職員、学生、研究者）の学習支援、研究支援を目的として収集される。一方、NWEC情報センターは、我が国唯一の女性教育のナショナルセンターであるNWECの専門図書館として、その専門のテーマに沿って、職員が蔵書とするコレクションを主体的に作っていく実践がなされている。

NWEC図書パッケージ貸出サービスの利用傾向から、大学図書館に所蔵されていない図書（所蔵されにくい図書）が、NWEC情報センターにはあることがわかる。これは、前述のとおり、専門のテーマについての学習書、専門図書を中心に、関連図書を幅広く収集している主体的な資料収集の実践の結果である。その成果が、現在、ひとつには学生生活に役立つ「男女共同参画に関する学習支援」に使われ、もう一方で大学での男女共同参画授業との連携、公開講座との連携、ゼミの論文作成を目的として利用されている実績

に表れている。

５　男女共同参画に関する図書コーナーができる大学

平成22年６月からNWEC図書パッケージ貸出サービスを採用した東京大学駒場図書館は、200冊ごと２ヵ月間の利用という早いペースで、NWEC図書パッケージ貸出サービスを活用し、この期間に学生によく使われる図書を観察し購入して図書館に揃えている。現在、東京大学駒場図書館のGENKI BOOKS（Gender Equality: No-nonsense Knowledge and Information）コーナーには、NWEC図書パッケージ貸出サービスの図書100冊（２ヵ月で入れ替え）の隣に、その後、東京大学総合文化研究科の教員、院生、学生の選書による購入図書が並んでいる。

また東京大学の他に、青森中央学院大学も図書館内に男女共同参画図書コーナーの設置に向けて、東京大学駒場図書館と同様の手法をとった。

この大学図書館内の男女共同参画図書コーナーの設置は、NWEC図書パッケージ貸出サービスの広報にも効果を上げている。本年度の新規利用機関の中には、東京大学駒場図書館見学者の所属機関からの申し込みがある。

このサービスの広報は、平成22年度から国立大学図書館協会総会（平成22年６月）やNWEC主催事業「大学・研究機関のための男女共同参画推進研修」（平成22年６月）はもちろんのこと、外部セミナー等に参加した時々に紹介するなど 、地道な広報活動を継続している。

東京大学駒場図書館GENKI BOOKSコーナー（平成22年度開始当時）

現在は、この右側の書架に東京大学総合文化研究科の教員、院生、学生の選書による購入図書が並んでいる。

東京大学駒場図書館HPの広報　http://lib.c.u-tokyo.ac.jp/

駒場図書館News

前の記事　次の記事

▼ 2010/06/16(水) GENKI BOOKS、始めました!

2010/06/16 16:47 駒場図書館

GENKI BOOKS
Gender Equality: No-nonsense Knowledge and Information

東京大学では男女共同参画基本計画に基づき、様々な取り組みが進んでいます。
駒場図書館でも、駒場友の会の支援と国立女性教育会館の協力*1を得て、男女学生が共に自立し理解しあって元気に生きていくことに役立つ本を選んでコーナーを設置しました。

名づけて、
GENKI BOOKS
Gender Equality: No-nonsense Knowledge and Information
です。

GENKI BOOKSは、駒場図書館1階(自動貸出機の隣、メディアパークの向かい側)にあります。
大字図書館っぽくない本もいっぱいあります。*2
どうぞご利用ください。

*1：国立女性教育会館から2ヶ月間に図書を提供していただきます。6月－7月の図書はこちらをご覧ください。
*2：現在は国立女性教育会館からご提供いただいた図書(館内利用のみ、貸し出しできません)を置いていますが、今後駒場図書館でも図書を購入して追加する予定です。

第４図　サービス開始時のチラシ

男女共同参画社会形成のために知識と情報を提供する

図書のパッケージ貸出サービスを始めました

独立行政法人　国立女性教育会館
NWEC National Women's Education Center of Japan

■大学、女性関連施設、公共図書館等を対象に、
■「男女共同参画」や「雇用」「女性のライフプラン」「家族問題」など、男女共同参画社会の形成を目指した女性・家族・家庭に関する様々なテーマにあった図書を、まとめて貸し出す
「図書のパッケージ貸出サービス」を始めました。
■広報、教育、研究、学習などの様々な支援に是非、ご活用ください。

パッケージを作るために

＋ 大学や女性関連施設でのご利用目的に合わせてパッケージを提案します。
(1)大学1・2年生のための学生生活の最初をサポートするため
(2)教員を目指す学生に読んでほしい
(3)大学教職員の男女共同参画事業への支援
(4)女性関連施設の事業「講座と講演会」と連携して　など
この他にもご要望にあわせてご相談しながら、新しいパッケージを作成します。

サービス内容

＋ 機関・団体(大学等研究機関、女性関連施設、公共図書館など）を対象とします。
＋ 貸出（入替）期間もご要望にあわせて調整します。

詳細については、お気軽に女性教育情報センターにご相談ください。
TEL 0493-62-6195　FAX 0493-62-6721　E-mail infodiv@nwec.jp
独立行政法人　国立女性教育会館　女性教育情報センター
〒355-0292 埼玉県比企郡嵐山町菅谷728番地

女性教育情報センター紹介

男女共同参画・女性・家庭・家族に関する国内外の資料・情報を収集する専門図書館
■ 所蔵資料

図書 専門図書、一般図書、女性団体・研究所が発行した調査資料・報告書など約9万冊	雑誌 約3,800タイトルの国内外の学術・一般雑誌
地方行政資料 全国の地方公共団体が発行する報告書など約2万5千冊	新聞切り抜き記事 全国紙・地方紙約50紙から関連記事を切り抜いて整理し蓄積。1977年から現在まで30年以上の分を所蔵

■ データベース
女性関連施設DB / 女性と男性に関する統計DB / 男女共同参画人材情報DB
ほか、多数会館作成データベースあり
■ 女性情報ポータル "Winet" (ウィネット)　http://winet.nwec.jp

ご要望にそったテーマで、女性教育情報センターの蔵書から構成します。
(a) 異性関係、コミュニケーション、食、男女共同参画
(b) 生き方、しごと、男性学、人間関係
(c) 格差、家族関係、からだ、国際協力、スポーツ
(d) メディア、自己実現、ライフスタイル
(e) アイデンティティ、キャリア、政治、文学
(f) 子育て支援、夫婦別姓、スポーツと女性、女性のキャリア形成
(g) 家庭と学校、児童福祉、人権教育、多文化
(h) 児童虐待、セクシュアリティ、セクハラ
(i) 女性のための再就労支援講座

➢(b)「生き方、しごと、男性学、人間関係」のパッケージ例（抜粋）

書名：副書名	編著者名	出版者	出版年
おとなの男の心理学	香山リカ著	ベストセラーズ	2007
変えてゆく勇気：「性同一性障害」の私から	上川あや著	岩波書店	2007
格差社会を生きる：男と女の新ジェンダー論	杉井静子著	かもがわ出版	2008
「かわいい」の帝国：モードとメディアと女の子たち	古賀令子著	青土社	2009
この先を見つけたい：私の仕事、私の未来	宝子山基一，増田ゆみ著	評言社	2005
サラリーウーマン幸せ研究所：life編	小井由紀子，日経WOMAN編	日本経済新聞社	2006
仕事と若者	本田由紀，筒井美紀編著	日本図書センター	2009
大学生の職業意識とキャリア教育：will can must	谷内篤博著	勁草書房	2005
友だち地獄：「空気を読む」世代のサバイバル	土井隆義著	筑摩書房	2008
働くことの心理学：若者の自分さがしといらだち	都筑学編	ミネルヴァ書房	2008
輝く女性の生き方100：101人目のストーリーはあなた	三根早苗編	本の泉社	2005
母と娘の歴史文化学：再生産される「性」	[illegible]	白地社	2009
不安定社会の中の若者たち：大学生調査から見るこの20年	片桐新自著	世界思想社	2009

大阪教育大学附属図書館

上智大学女性研究者支援事務局

中央区立女性センター

パッケージ貸出サービスをご利用いただいている機関　（平成23年1月現在）
東京大学駒場図書館、大阪教育大学附属図書館、長崎大学附属図書館、京都大学附属図書館、奈良教育大学附属図書館、上智大学女性研究者支援事務局、十文字学園女子大学図書館、中央区立女性センター、北海道大学附属図書館、九州大学附属図書館、札幌市男女共同参画センター

図書のパッケージ貸出サービスに関する詳細は、次のURLから参照していただけます。
http://www.nwec.jp/jp/center/page12.html

第５図　改訂した現在のチラシ

http://www.nwec.jp/jp/data/pkgchirashi201110-1.pdf

男女共同参画社会形成のために知識と情報を提供する

図書パッケージ貸出サービス

NWEC PKG

独立行政法人　国立女性教育会館
NWEC National Women's Education Center of Japan

■大学、女性関連施設、公共図書館等を対象に、
■「男女共同参画」や「ワークライフバランス」「女性のライフプラン」など男女共同参画社会の形成を目指した女性・家族・家庭に関する様々なテーマにあった図書を、まとめて貸し出す
「図書のパッケージ貸出サービス」を行っています。
■広報、教育、研究、学習などの様々な支援に是非、ご活用ください。

サービス内容

➢ 機関・団体(大学等研究機関、女性関連施設、公共図書館等）を対象とします。
➢ ご利用目的に合わせてパッケージを提案します。
例１：大学1・2年生のための学生生活の最初をサポートするため
例２：教員を目指す学生に読んでほしい
例３：大学教職員の男女共同参画事業への支援
例４：女性関連施設の事業（講座や講演会）と連携して　など
この他にもご要望にあわせてご相談しながら、パッケージを作成します。
➢ パッケージは50冊から200冊まで、ご要望にあわせて作成します。
➢ ご利用期間はご要望にあわせて調整します。
➢ ご利用料金は無料です。送料はご利用機関のご負担となります。
➢ 図書を損傷又は紛失の場合は、同一の資料による弁償をお願いします。

詳細については、お気軽に女性教育情報センターにご相談ください。

TEL 0493-62-6195　FAX 0493-62-6721　E-mail : infodiv@nwec.jp
独立行政法人　国立女性教育会館　女性教育情報センター
〒355-0292 埼玉県比企郡嵐山町菅谷728番地
サービス案内ページURL：http://www.nwec.jp/jp/center/page12.html

➢ テーマ「女性のための再就労支援講座」のパッケージ例（抜粋）

書名：副書名	編著者名	出版者	出版年
女30歳からでもキャリアは作れる：夫の失業、子供3人…主婦が大学教授になるまで	辻三千代著	光文社	2009
女の選択	今野由梨著	日本放送出版協会	2009
子育て主婦の公認会計士合格記：子どもを産んでから、自分の夢を実現する!	小長谷敦子著	中経出版	2005
成功する女たち：埼玉の女性企業家19+1：社長の学校	埼玉中小企業家同友会女性経営者クラブ・ファム編著	新風出版社	2008
働く女性のためのパート労働法早わかり	中経出版編集部働く女性を応援するチーム著；吉川直子監修	中経出版	2008
ハッピー・ワーキングマザーBOOK：4000人に聞きました	ムギ編著	講談社	2006
ワーキングママの本音	安藤哲也，伊藤ゆかり，馬山奈々編著	ナカニシヤ出版	2006
ポスト育児期の女性と働き方：ワーク・ファミリー・バランスとストレス	西村純子著	慶應義塾大学出版会	2009
キャリアデザイン・ワークブック：自己実現トレーニング	金谷千慧子著	経営書院	2006
女性が変える日本経済	小峰隆夫，日本経済研究センター編	日本経済新聞出版社	2008

大阪教育大学附属図書館

上智大学女性研究者支援事務局

中央区立女性センター

パッケージ貸出サービスをご利用いただいている機関
札幌市男女共同参画センター、日本女性学習財団、日仏会館、愛知県立大学長久手キャンパス図書館、岩手大学男女共同参画室、大阪教育大学附属図書館、香川大学図書館、九州大学附属図書館、京都大学附属図書館、埼玉大学教養学部資料センター、十文字学園女子大学図書館、上智大学女性研究者支援事務局、創価女子短期大学、東京大学駒場図書館、豊橋技術科学大学、奈良教育大学附属図書館、北海道教育大学附属図書館、北海道大学附属図書館　（2011年10月現在）

女性教育情報センター紹介

男女共同参画及び女性・家庭・家族に関する国内外の資料・情報を収集・提供する専門図書館です。
■ 所蔵資料

図書 専門図書、一般図書、女性団体・研究所が発行した調査資料・報告書など約9万冊	雑誌 約3,800タイトルの国内外の学術・一般雑誌
地方行政資料 全国の地方公共団体が発行する報告書など約2万5千冊	新聞切り抜き記事 全国紙・地方紙約50紙から関連記事を切り抜いて整理し蓄積。1977年から現在まで30万件以上を所蔵。

■ 所蔵資料はすべて「文献情報データベース」から検索できます。
女性情報ポータル "Winet"（ウィネット)からご利用ください。　URL: http://winet.nwec.jp
その他、女性関連施設DB / 女性と男性に関する統計DB / 男女共同参画人材情報DBなど、多数会館作成データベースを提供しています。

大学内の複数部署の連携

大学内で男女共同参画推進を担当する部署である男女共同参画推進室と大学図書館の連携にも、NWEC図書パッケージ貸出サービスは活用されている。

大学内での企画等として、男女共同参画推進室の提案がきっかけとなって、NWEC図書パッケージ貸出サービスの利用を開始した大学には、岩手大学、埼玉大学、豊橋技術科学大学、山形大学、香川大学がある。

なお、独立行政法人科学技術振興機構「女性研究者支援モデル育成」に採択された大学で、NWEC図書パッケージ貸出サービスを利用及び利用予定の大学は、次の11機関である。

平成22年度採択中　岩手大学、香川大学、大阪府立大学
平成21年度採択中　長崎大学、山形大学、上智大学、筑波大学
平成20年度採択中　なし
平成19年度採択中　東京大学、九州大学
平成18年度採択中　京都大学、北海道大学

また、大阪教育大学、埼玉大学、豊橋技術科学大学は、上記「モデル育成」に採択されてはいないが、男女共同参画推進室がNWEC図書パッケージ貸出サービスを支持し、図書館で利用する機関である。

様々な大学の男女共同参画推進室は、「研究者のすそ野の拡大」を大きな目的とし、大学図書館と協力して、大学内での男女共同参画事業を進めている。

学部の授業等との連携

埼玉大学、青森中央学院大学、創価女子短期大学へは、大学の授業や公開講座、ワークショップとの連携・支援も行っている。特に埼玉大学では、授業のコマの中にNWEC理事による男女共同参画についての国際的・国内的動向についての講義のほか、NWEC情報課職員による「専門情報を使う」、「男女共同参画統計を学ぶ～女性と男性に関する統計データベースを使う」

という情報リテラシー・情報検索の講義を実施した。この講義の中で、学生は現場の専門家による概論をはじめ、パソコンを実際に操作しながらレポート作成のための専門データベースからの情報収集・選択の方法、統計データの活用について学ぶことができる。

埼玉大学連携授業「男女共同参画社会を考える」
http://syllabus.saitama-u.ac.jp/SAITAMA/Syllabusapp/Lecture.aspx?lct_year=2011&lct_cd=X39027

第２回授業（４月20日）、
第３回授業（４月27日）於　埼玉大学

第11～12回授業（６月25日）
於　NWEC情報センター

６　NWEC図書パッケージ貸出サービスが目指すもの

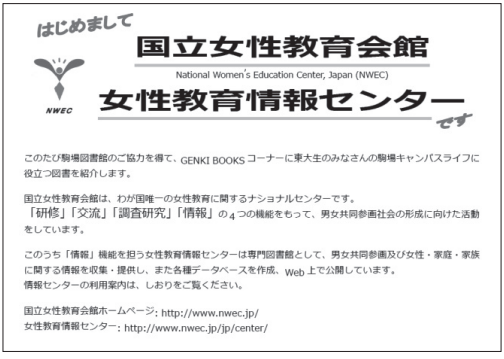
このサービスで目的としたことは、若い世代の男女に「男女共同参画」という言葉を身近にすることである。そのテーマに関する図書や情報を身近におくために、まず、若い世代の男女（大学生）が学習、研究という学生生活の中で必須の存在である大学図書館と連携できたことは有難いことである。

大学にある学習以外の図書、社会生活（特に「男女共同参画」）の知識につながる情報を得られる図書が、いつも勉強に使っている図書館にある。学習、専門の研究書とは違うタイプ、内容の図書が、すぐに手に取れるところにあるという環境を作り、その中から日常の学生生活の中で普通に男子学生も女子学生も「男女共同参画」を知る効果を期待したものである。

また、さらに「男女共同参画」について、もっと知識や情報が必要なときに、国立女性教育会館の存在を記憶に残す効果を期待している。

このために、NWEC図書パッケージ貸出サービス開始時には、必ず「はじめまして国立女性教育会館女性教育情報センターです」の自己紹介ポスターを展示し、NWEC施設案内等を配置し、NWECの施設や事業の紹介に努めている。

第６図　自己紹介ポスター
http://www.nwec.jp/jp/data/intro1.pdf


はじめまして
国立女性教育会館
National Women's Education Center, Japan (NWEC)
女性教育情報センターです

このたび駒場図書館のご協力を得て、GENKI BOOKS コーナーに東大生のみなさんの駒場キャンパスライフに役立つ図書を紹介します。

国立女性教育会館は、わが国唯一の女性教育に関するナショナルセンターです。
「研修」「交流」「調査研究」「情報」の４つの機能をもって、男女共同参画社会の形成に向けた活動をしています。

このうち「情報」機能を担う女性教育情報センターは専門図書館として、男女共同参画及び女性・家庭・家族に関する情報を収集・提供し、また各種データベースを作成、Web 上で公開しています。
情報センターの利用案内は、しおりをご覧ください。

国立女性教育会館ホームページ: http://www.nwec.jp/
女性教育情報センター: http://www.nwec.jp/jp/center/

第２期中期目標・中期計画の最終年度であった平成22年度からNWEC図書パッケージ貸出サービスを試行として、企画し実施した。平成23年度からの第３期中期目標・中期計画期間は、男女共同参画やジェンダー学関係の授業支援・論文作成支援向けとして、情報リテラシー教育（情報収集の方法や活用）と連携する企画をひとつのモデルとして検討している。

また、地域での連携を支援するプランも次のように検討している。例えば、現在、北海道では、北海道大学、札幌市男女共同参画センター、北海道教育大学がNWEC図書パッケージ貸出サービスを利用している。現在は、それぞれがNWEC図書パッケージ貸出サービス利用機関であるが、近い将来、地域で女性関連施設と大学が連携して、地域内の新たなネットワークとして、同様なサービスを展開するきっかけにならないか、と考えている。

７　今後の展開

NWEC図書パッケージ貸出サービスの提供により、NWEC情報センターは資料収集方針の変更（重点化）による図書の収集、図書の利用状況を把握するための管理ツールの検討、提案、実証実験の実施など、新たな検討課題がある。とりわけ、利用状況の把握と企業へのサービス展開については、次のとおり検討と実践を進めている。

利用状況の把握

各利用機関での貸出状況の把握は、実際に貸出が実施可能な機関にのみ、貸出統計の提供を依頼している。貸出統計をNWECに提供できる機関は、現在のところ３大学のみである。その他の機関は、図書館内での閲覧のみの利用に制限している。

この館内閲覧に制限している図書館に着目し、平成23年10月より東京大学駒場図書館に帝人ファイバー社のレコピックという書籍管理システムを実証実験として導入した。これは書棚にUHFのアンテナシートを敷き、図書にICタグを張り、図書が手に取られた数をカウントしたり、書棚から離れている時間を計測するシステムである。これによって、今まで館外貸出手続きでしか利用度が測れなかった図書の図書館内での利用を客観的なデータとして入手し、分析することが期待できる。

今後、このシステムの実証実験をすでに導入している他大学、協力可能な機関と連携して、さらに利用状況の把握を拡張することができれば、データとしての利用者ニーズの把握により、NWEC情報センターの資料収集方針重点化のための貴重な情報が得られると考える。

企業へのサービス展開を目指して

平成24年度の事業拡大にむけて、NWEC図書パッケージ貸出サービスの

企業への提供を考え、いくつかの企業の担当者との面談を始めている。

その中で気づいたことが、いくつかある。まず、広報チラシの内容に費用負担など責任に関することを簡単に明記すること。次に企業内では、単なる「男女共同参画」のための学習支援ではないことから、NWEC図書パッケージのテーマにするキーワードを今まで以上に担当者と打ち合わせ、明確かつ企業の男女共同参画やダイバーシティの方針に沿ったものに練り上げることである。

しかし、もっと単純かつ明確な問題として、企業内でNWEC図書パッケージの図書を展示する場所・設備の確保が難しいことがある。これまでNWEC図書パッケージ貸出サービスを利用している大学や女性関連施設にある図書館と違い、すべての企業に図書の無断持ち出しを管理するブックディテクションシステム等があるとは限らない。また、企業の図書館または資料センターは、その企業の目的に沿った資料を収集する専門図書館であることから、そこに「男女共同参画」図書コーナーを設置するためには、企業内での調整期間も必要のようである。

このことは、企業でNWEC図書パッケージ貸出サービスが活用されるために、企業の専門図書館内以外に、企業のスタッフがもっと気軽に手に取れる場所へ図書を貸し出す場合について、NWECでの検討が必要である。

男女共同参画社会形成へ向けて、NWECは様々な事業において、不断の努力を続けていく。その中で、NWEC情報センターの新しいこの事業を全国に広げ、必要とされる情報を必要な方へ提供できる環境整備への支援、賛同、協力をいただきたいと考えている。

（いちむら・さくらこ　国立女性教育会館情報課長）